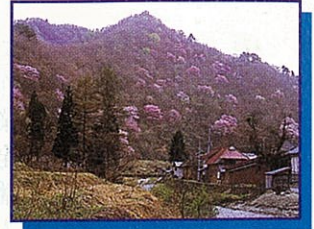


南会津のうりんニュース

第24号

平成12年5月10日発行
福島県南会津農林事務所



今月のトピック

山火事に注意

4月24日と25日にかけて、南会津郡内において山火事の予防を呼びかける山火事予防パレードが実施されました。

パレードは、消防本部・会津森林管理署及び南会津支署・各町村・各森林組合・NTT・東北電力(株)・電源開発(株)・南会津農林事務所等で構成する南会津地区山火事防止対策協議会の主催で実施され、地域住民や子供たちにチラシや風船等を配布して、山火事の予防を呼びかけました。

また、今年は、全国育樹祭が福島県で9月17日に猪苗代町を中心に開催されるため、そのPRとして花の種を併せて配布しました。

南会津では、ここ数年、大きな山火事は発生していませんが、毎年、数件小さな山火事が発生しており、注意が必要となっています。特に、4月～5月下旬の間は、空気が乾燥しますので、「たばこの投げ捨て」は絶対しないようにお願いします。また、たき火の処理は完全に消火するまでその場を離れないようお願いします。

南会津郡は、山菜採りや釣りなどを目的とした県内外からの入山者が多いことから、パレードのほか、横断幕の設置や、パトロールを行いながら入山者へのチラシの配布等を行い、山火事の予防に努めておりますので、皆様のご協力をお願いします。

なお、皆様の大切な森林を守るため、まさかの備え「森林共済セット保険」への加入もよろしく願います。

(森林林業部)



山火事防止にご協力下さい！

かわいい会津地鶏のヒナがやってきた！

去る4月14日、只見町蒲生の馬場惇さん、坂田の梁取徳雄さんの家に会津地鶏のヒナが導入されました。

導入された羽数は、一戸あたり500羽の合計1,000羽で、今年は寒さが厳しかったため、農機具小屋にビニールを張って防寒対策を行うなど、それぞれに工夫を凝らしてかわいいヒナの到着を待っていました。

馬場さん、梁取さんともに前年度まで行っていた、地鶏モデル農家育成事業で会津地鶏の飼育を始めた方で、今年は、年2回転、両者で2,000羽を飼育する予定です。(只見町内では2,500羽飼育予定。)

最後になりますが、これからも愛情を一杯に受けて会津地鶏のヒナは、すくすくと育って行くことでしょう。
(農業振興部)



元気に餌をついばむ会津地鶏のヒナ

下郷町林業振興協議会が行われました

4月26日に平成12年度下郷町林業振興協議会が、下郷町湯野上において開催されました。

総会には、玉川会長、下郷町長ほか24名の会員が町内から参加し、11年度活動の実績、12年度計画の説明がありました。その後、当事務所森林林業部吉田林業課長による県外のグループ活動事例及びグループ活動の歴史についての講演があり、会の今後の活動に大いに役にたったという意見が出されました。
(森林林業部)



🌿 水稲直播(ちよくは)栽培始まる

直播栽培は、苗を作らずに、直接田に種もみをまく栽培方法で、春作業が大幅に省力化できるため、北海道から九州まで全国で栽培が増えています。南会津では本格的に直播栽培が始まって5年目になりました。今では20人以上の方が合わせて約10ヘクタールも取り組んでいます。

4月25日に、田島町で今年最初の種まき作業が背負式の動力散布機で行われました。10アールあたり約5分と、田植機の半分以下の時間で能率良く作業できました。

5月12日には、伊南村の白沢地区ほかでラジコンの無人ヘリコプターによる約6ヘクタールの直播団地の種まきが行われ、作業のピークを迎えます。

(農業普及部)



昨年の無人ヘリ直播の様子(伊南村)



🌿 南会津の園芸作物をPR!

南会津地方では、アスパラの出荷が本格化し、主力であるトマトも予想外の3月末の大雪で苦労を強いられました。播種作業も昨年より6日遅れて4月10日に無事終了しました。

南会津を代表するこれらの園芸作物の本格的な出荷を前に、去る4月24、25日に各市場とのより一層の関係強化を図る狙いで、南会津広域農業圏推進協議会主催の市場視察研修会が開催されました。参加者はJA会津みなみ星参事をはじめ、生産部会代表者、関係機関等総勢13名で、行先は太田市場の太田花き、東京荏原青果、北足立市場の千住青果、それにイトーヨーカドー大井店の4カ所。研修先では、参加者一人一人が精力的な産地PRと活発な質疑応答が繰り広げられました。

トマトは高糖度トマトがフルーツ感覚で消費者の人気を集め、量販店では野菜の中でも儲かる商材と

して特に注目している話や、韓国産の台頭など、国内産地事情だけでは戦略を組み立てられない時代に危機意識を抱いた参加者が多くみられました。

今後、協議会の中でトマト、アスパラガス、花きをどのように振興していくのか議論することとなりますが、早くも広域農業圏推進事業の継続を望む声が寄せられています。(地域農林企画室)



🌿 水稲育苗施設新築工事落成式(下郷町)

平成11年度経営基盤確立農業構造改善事業で整備した水稲育苗施設が完成し、平成12年4月14日午前10時から三瓶JA会津みなみ組合長、櫻井下郷町長、道喜農業振興部長等事業関係者が参列したなかで落成式が開催されました。

農業を取り巻く情勢は、米の関税化、農業・農村の活性化を図るための新たな農業基本法の制定など、かつてない変革の時期を迎えており、さらに担い手の高齢化、後継者不足などの課題が山積しています。

こうした状況の中、120ha処理可能な育苗施設と農業機械やライスセンター等既存施設との有効利用を図ることで省力化・低コスト化による生産性の高い稲作生産体制による安定的・効率的な稲作生産システムが確立され、今後の水田農業の発展に大きく貢献していくことになります。(農業振興部)



落成を祝ってテープカット



食料・農業・農村基本計画について

世界の総人口は爆発的に増え続け、食料の確保は地球的規模での重要な課題となっています。このような中、国は、平成11年7月からの食料・農業・農村基本法（新農基法）に基づき、食料自給率の目標を定めた食料・農業・農村基本計画を3月に閣議決定しました。

この基本計画は、10年後（平成22年度）の目標を定めますが、食料・農業・農村をめぐる情勢の変化などにより、おおむね5年ごとに見直すこととしています。

●食料・農業・農村基本計画の概要

※ 食料自給率の目標 ⇒ 45%（平成9年度 41%）

将来的に目指すべき食料自給率目標を5割以上とすることも明記しました。

また、食料自給率の目標を達成するために農地面積、耕地利用率、品目別の生産努力目標などについても定めました。

○農地面積の目標	470万ha	（平成9年度	495万ha）
○耕地利用率の目標	105%	（平成9年度	95%）
○品目別の生産努力目標	（主なもの）		
米	969万トン	（平成9年度	1,003万トン）
小麦	80万トン	（平成9年度	57万トン）
大麦・はだか麦	35万トン	（平成9年度	19万トン）
大豆	25万トン	（平成9年度	15万トン）

以上のように食料自給率目標の達成に向け、麦や大豆の大幅な増産を目指し、南会津地方でも推進して行きたいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。（地域農林企画室）

食料自給率とは

国内でどれくらいの食べ物が賄われたかを示す指標で、最も基礎的栄養素であるエネルギーに置き換えたのが食料自給率（カロリー換算自給率）です。

魚は、骨や頭、果物では皮やしんを除いた実際に食べられる食料を国民1人1日当たりの供給カロリーに換算します。平成9年度は、2,638キロカロリーで国産の供給カロリーが1,085キロカロリーなので自給率は41%となります。

統計を取り始めた昭和35年の食料自給率は79%でしたが、昭和63年度に50%を割り込みそのまま一貫して下がり続けています。



～研修会・講習会等お知らせ～

農業短期大学校・会津農業センター研修

内 容	日 時	場 所
①農業機械研修：「大豆栽培の機械化作業技術」	6月1日	農業短期大学校内
②農産加工研修：「食品法令と容器包装リサイクル法」	6月8日	農業短期大学校内
③農業機械研修：「トラクタ基本運転」（第1回）	6月12～15日	農業短期大学校内
④農産加工研修：「うつくしま未来博と地場産品開発」	6月21日	農業短期大学校内

※お申込み・お問合せ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

今年・4度目の花見

下郷町・「戸赤のさくら」が現在（5月10日）三分咲きです。5月13日、14日の週末が満開となるそうで、なんとか時間を作って今年最後（？）の花見を楽しんでこようと思つているところですが、この花見を入れると、今年は4回も満開の桜の花見を楽しむことになります。

4月8日、いわき市で桜の開花が発表されて、福島県内の桜前線がスタートしてから、かれこれ、1ヶ月を過ぎようとしています。今、奥会津地方は桜吹雪と、新緑がまぶしい春本番を迎えています。

今年の南会津地方は3月25日～27日に降雪があり、田島町で27日の積雪量が102cm、南郷村で229cmという季節はずれの大雪があり、気温も平年より低く経過したため、桜の開花は約1週間遅れました。

- ・福島市内の桜の満開日 4月21日頃
- ・会津若松市内の桜の満開日 4月29日頃
- ・田島町内の桜の満開日 5月 4日頃
- ・「戸赤のさくら」満開日 5月13日頃

以上の記録は私の手帳のメモなので、若干ずれているかもしれませんが、福島市の自宅に帰宅時、帰宅途中の会津若松市内での休憩時、田島町の公舎生活時等、その時々で桜の満開の量観を堪能してきました。

今年の春先の異常気象にも助けられたのですが、30数年の長い県職員生活の中で1シーズン4回も花見ができる好機を与えられたことに感謝し、4度目の花見をゆっくり楽しみたいと思つている今日このごろです。

なお、「戸赤のさくら」は長い間、伐採することが禁止され、地域の住民により大切に守り育てられてきました。このため、桜は樹齢100年以上の古木ばかり、木々の若葉が萌える薄緑色の山肌に、オオヤマザクラの紅色とタムシバの白色が映える等、素晴らしい山里の景観を形成しており、毎年、多くのプロ・アマカメラマン達の被写体として、注目されている隠れた桜の名所です。

所長 中村 紘夫

未来博に参加しよう！



第1期前売入場券発売開始！！

来年7月7日～9月30日に須賀川市で開かれる「うつくしま未来博」の前売入場券の発売が5月1日からスタートしました。

発売を記念したオープニングセレモニーが田島合同庁舎前で行われ、田島中学校吹奏学部の演奏やキビタンファミリーの登場、イメージソング「永遠の心」の披露など、華やかに前売り開始を祝いました。同時に、キビタンから各町村長へ前売入場券が手渡されました。

今回発売が始まった第1期前売り券は、当日券よりも割安で購入できる他に、抽選でステキな景品のプレゼントや、県内の主な観光スポット、宿泊施設で優待割引が受けられるなどの特典が付いてきます。

うつくしま未来博を機会に、福島の良さをもっとPRするよう、県外の知人・友人など、ぜひたくさんの人に呼びかけ下さい。

第1期前売り入場券（今年末まで）は、大人2,500円、高校生1,500円、小中学校生1,100円です。お求めは、各町村のうつくしま未来博推進協議会（事務局は町村役場内）などで。



キビタンから前売り券が渡されました

問い合わせ

あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

タイトル横の写真

戸赤の山桜（下郷町）



古紙配合率50%再生紙を使用しています

この広報紙は古紙配合率50%再生紙とSOY（大豆油）インキを使用しています。

